

ひかり

Kikuna
Memorial
Hospital
News Letter

vol.70

2012.9

ご自由にお持ちください

● 特集

夏の消化器症状

● 言語聴覚療法部門を
開設しました！

● おくすりのはなし vol.06

● KMH NEWS

● 頼れる！まちの医療機関

夏の消化器症状～(感染性腸炎のお話)

消化器内科部長 西元 史哉

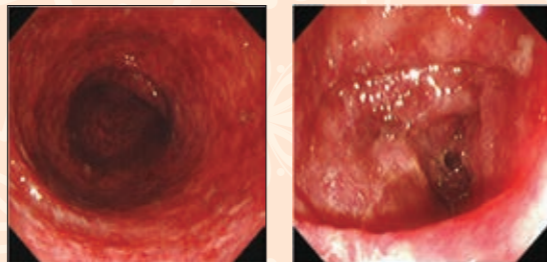


夏期には下痢を生じやすい時期です。夏バテや、また熱中症予防のために、冷たい飲み物を飲み過ぎたり、エアコンの影響で体を冷やしすぎたり、夏期休暇の疲れなどなど、下痢を生じやすい要素がいっぱいです。とはいえ夏期の急性下痢の半分以上が感染性胃腸炎であり、それらは食あたり、食中毒に代表される細菌性感染が原因です。最近も病原性大腸菌による事件が起きています。そこで本稿では感染性腸炎を中心にお話しようと思います。

感染性腸炎の原因としては、細菌、ウイルス、寄生虫などの病原体が経口的に腸に感染して下痢、嘔吐などの消化器症状を引き起こす病気です。夏期にはしばしば集団発生がみられ、これを食中毒といいます。原因食品としては多岐にわたりますが、鶏肉、鶏卵など（カンピロバクター腸炎、サルモネラ）牛肉、未殺菌生乳、野菜など（病原性大腸菌）、魚介類（腸炎ビブリオ）などが、夏の代表格でしょうか？（ちなみに冬には生かきノロウイルスという有名なウイルスがあります）症状的には嘔吐、下痢、そして菌の種類によっては

発熱など出る場合があります。

下痢も、腸の粘膜のただれが悪化すると血便を来すこともあります。（右図）



（病原性大腸菌 O-157 腸炎）

とくに病原性大腸菌の重症、死亡例では脳痙攣や腎不全を併発し、人工呼吸器や緊急人工透析を余儀なくされる症例があります。また一部の菌では、腸炎症状が治まったあと関節炎や神経炎を生じる（腸管外症状といいます）場合もあり注意が必要です。治療の多くの例は、適切な輸液と、軽微な食事療法や整腸剤や消化薬などで改善します。通常、抗生物質は不要です。しかし敗血症（菌が全身にまわった状態）や小児、人工弁など心臓手術の既往のある方や人工関節がはいっている方などでは、起因菌によっては抗生物質などの投与が必要です。

予防としては、当然ですが生鮮食品は新鮮なものを使用しましょう。加熱

食品は十分な加熱最低でも（75度で1分以上）をしましょう。調理後の保存は冷蔵庫にすぐにいれましょう。（大腸菌は室温では15分で2倍に増殖します！）また台所の“水回り”に注意し特に包丁、まな板などの洗浄に注意してください。そしてなにより手洗いなどを励行するようにしましょう。夏の食中毒の1/4が家庭内で発生しています。充分注意してください。

番外編—感染性腸炎と思ったら??

夏が過ぎても、あるいは1か月以上たっても下痢が続く場合（これを慢性下痢といいます）、感染性腸炎ではありません。原因としては服用している薬の影響や、特殊な腸炎（潰瘍性大腸炎やクローン病など）のこともあります。また大きなポリープや腫瘍が下痢の原因ということもあります。また、下痢＝腸の病気というわけではありません。胃潰瘍での出血や慢性膵臓炎でも下痢が生じます。さらに下痢＝おなかの病気というわけでもありません。甲状腺や糖尿病といった代謝の病気でも下痢を引き起こす事もあります。このように多岐にわたることもあり“慢性下痢”は重大な全身疾患のサインということもあります。必ず受診をしてください。

暦の上では秋ですが、まだまだ残暑が残ります。体調管理に留意され、ご自愛ください。そして下痢のみならず、便通異常でお悩みの方はお気軽に受診してください。

外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	佐藤(知)	庄司		岩田	庄司	
午後	西元	佐藤(知)	西元	三島 岩田 第1-3週		

内視鏡検査担当表

	月	火	水	木	金	土
午前 [GIF]	黒木 庄司 三島	昭和大学 横浜市北部 病院	庄司	西元 三島	阿曾沼	庄司 佐藤 西元 三島
午後 [CF]	庄司 三島	山田	黒木	西元	佐藤	
ERCP	随時					

ご予約、お問い合わせ

TEL:045-402-7015

平日 8:30～17:30 土曜 8:30～13:00

言語聴覚療法部門を開設しました！

2012年4月より言語聴覚士が入職しました。リハビリストップとも直ぐに打ち解け、理学療法士と言語聴覚士との連携も密にとれております。医師や看護師、ご家族から要望のあった言語や嚥下えんげのリハビリにも応えられるようになり、今まで以上に質の高いリハビリテーションを提供できると確信しております。また、NST(栄養サポートチーム)やSST(摂食嚥下サポートチーム)など、他職種との連携もより一層深くなり、チームアプローチの重要な一役を担っております。

※嚥下…水分や食べ物を飲み込む動作のこと

リハビリテーション科 主任 吉川 拓也

言語聴覚療法とは？

脳血管疾患により生じた言語障害によって、コミュニケーションに支障をきたした方に対してリハビリテーションを行います。失語症（聞く、話す、読む、書くという言語機能そのものの障害）、構音障害（麻痺による発話の障害）など障害の内容は様々ですが、患者さんは思うように自分の意思が伝えられないという困難に直面します。言語聴覚療法では障害された言語機能の回復を目指すセラピーとともに、障害があっても相手に思いを伝えることができるという経験を積み、コミュニケーションをしたいという意欲を引き出していくことが重要です。そのためには、会話の相手となる対話者が障害を正しく理解し適切な対応をとることにより、私達がごく当たり前に行っている“自然な会話”を重ねることが、その最も近道となります。

言語聴覚療法の一例



▲失語症の訓練



▲口腔器官の運動

リハビリテーション科で働く専門技術者

- 理学療法士 (PT)
「運動療法」、「物理療法」、「日常生活活動練習」などを組み合わせ、座る、立つ、歩くなど生活の基本となる動作の練習、再獲得を支援します。
- 作業療法士 (OT)
食事や洗顔など日常生活に必要な動作を行う機能の回復を支援します。また、回復後の自立生活、社会生活へ向けて身体条件、精神条件を整えることを目指します。
- 言語聴覚士 (ST)
失語症や構音障害のセラピーやコミュニケーションの取り方に関する助言、また嚥下障害の評価と食事摂取の仕方についてアドバイスを行います。

当科スタッフ
理学療法士 ▶ 16名
言語聴覚士 ▶ 1名
助手 ▶ 1名
(平成24年9月1日現在)

言語聴覚療法 (ST) 部門の開設への抱負 言語聴覚士 Speech Therapist 岩村 友莉

これまで言語聴覚士 (Speech Therapist = ST) として大学病院に3年、一般病院に5年勤務し、今年の4月からご縁があり当院の ST 部門の開設に携わっています。開設の仕事も一人職場も初めての経験ですが、微力ながら当院のサービスの拡充及び地域医療の質の向上に貢献したいと思っております。また NST や摂食嚥下チームの回診では、嚥下評価を通して、多職種の皆さんとともに適切な栄養管理方法を考えていきたいと思っております。急性期病院ならではの忙しさも感じますが、患者さん一人一人に丁寧に対する姿勢を大切に、仕事をしていきたいと思っております。

当院のホームページにリハビリテーション科のページができました！
URL : <http://www.kmh.or.jp/riha/index.html>

肺炎球菌とワクチンについて

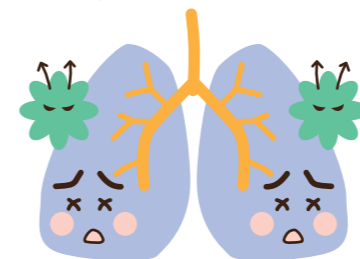
-おくすりの話 vol.06-

薬剤部 小野 絢子



肺炎球菌って何？

肺炎球菌は人の鼻腔内に常に存在する細菌です。健康な人では特に問題ありませんが、子供や高齢者、免疫機能が低下している人では重い感染症を起こす場合があります。



肺炎球菌による感染症に対する治療は？

肺炎球菌はまわりを固い膜で覆われた細菌で、通常、体を細菌から守るために働く白血球が攻撃しにくい構造をしています。治療には抗菌薬が使われますが、治療効果のある抗菌薬を使用することが重要です。



予防接種はできますか？

日本では下に挙げた人を対象として、23種の血清型に対応した肺炎球菌ワクチンが認可されています。

- ・65歳以上の高齢者
- ・心臓・呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病などの基礎疾患がある人
- ・脾臓の機能不全がある人

さらに、2010年2月からは、2歳未満の乳幼児についても、7種の血清型に対応した肺炎球菌ワクチンが接種できるようになりました。（注：当院では乳幼児を対象とした肺炎球菌ワクチンの予防接種は受け付けておりません。）

肺炎球菌ワクチンの接種については、ほかのワクチンとの接種間隔も含めて、かかりつけの医師とよく相談のうえで決めてください。また、希望してもすぐに接種できないことがありますので、希望される場合は早めに医療機関へ相談してください。

当院でも成人を対象とした予防接種を受け付けております。希望される方は医師にご相談ください。

どんな病気を起こしますか？

肺炎球菌はその名の通り、肺炎の原因になる菌です。一般家庭で暮らす成人が発症する肺炎（市中肺炎と呼ばれています）の原因として最も多く報告されています。しかし、それだけではありません。小児や高齢者、免疫機能低下者は肺炎球菌に対する抵抗力を持っていないので、比較的簡単に肺炎球菌に感染してしまいます。肺炎球菌が肺に感染すると「肺炎」に、血液の中に入り込むと「敗血症」に、脳や脊髄を覆っている髄膜の中に入り込むと「髄膜炎」を発症します。敗血症や髄膜炎を起こすと、重篤な後遺症を残したり、命にかかわったりすることがあります。

インフルエンザの後は肺炎球菌に感染しやすいのですか？

インフルエンザに感染すると細菌性の市中肺炎にかかりやすくなります。インフルエンザによって肺はかなりのダメージを受けて、もろくなっています。そこに病原体が入り込むと、簡単に感染して肺炎を起こしてしまいます。この時の病原体は肺炎球菌が最も多いと言われています。また、インフルエンザ後に発症した肺炎は、通常の肺炎よりも治療が難しいのです。様々な合併症を起こしやすくなり、また肺の大部分で肺炎を起こすこともあります。そして、治療効果のある抗菌薬が治療に使用されても死亡率が高いのです。インフルエンザ後の肺炎球菌による肺炎の予後は「インフルエンザウイルスの病原性」「肺炎球菌の病原性」「感染した人の免疫力」に左右されるので、もう一工夫しなければなりません。その一つが肺炎球菌ワクチンの接種です。





菊名記念病院のホットなニュースをご紹介します!



医局人事のお知らせ

常勤医が2名入職しましたのでお知らせします。



7月21日付入職
脳神経外科 今村 強
昭和大学卒
脳神経外科専門医

この度、脳神経外科に着任いたしました。部長 石崎医師と共にわかりやすく、やさしい医療を目指していきます。よろしくお願いいたします。



9月1日付入職
総合診療科部長 庭野 元孝
京都大学卒
医学博士
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会認定医

くし刺しの心と書いて患者です(患者さま川柳)。患者さま中心の医療を目標に頑張ります。



公開市民講座 開催しました!

第2回

7/20 知って防ごう! 熱中症



内科
講師: 奥田 由紀 医師

第3回

8/30 気になりませんか? 足の血管のふくらみ(下肢静脈瘤)



心臓血管外科
講師: 奈良原 裕 医師

次回開催決定!

第4回 市民公開講座
ジェネリック医薬品について
講師 薬局長 金田 昌之

日時: 10/18(木)
14:00~15:30 予定

会場: 菊名コミュニティハウス

お申込み・お問い合わせは
045-401-4964まで



当院のOpen UCGの取り組みが港北区医師会の会報誌に掲載!

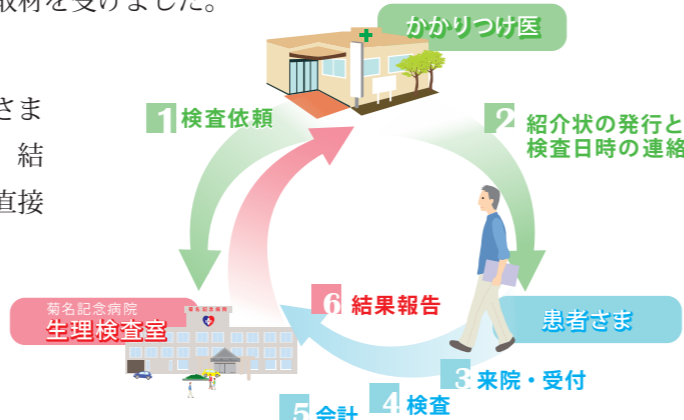
当院が取り組んでいる地域開放型の心エコー検査 (Open UCG) が港北区医師会報の「こんな事やっています」コーナーで紹介され、心臓血管外科 部長 尾頭 厚 医師が取材を受けました。

どんな取り組み?

かかりつけ医によるご予約の上、紹介状を持った患者さまに来院していただき、生理検査室にて心エコー検査の上、結果を診断医が読影します。検査結果は当日に患者さまに直接手渡し、もしくは紹介先に郵送となります。

心エコー検査予約ご利用ガイド
http://www.kmh.or.jp/pdf/ucg_guide.pdf

<https://www.facebook.com/kmhcv>



看護師復帰支援開催のお知らせ

出産・育児などブランクのある看護師さんを対象に、復帰支援の研修会を実施しています。注射・採血・心電図など、技術演習が充実している内容ですので、現場復帰に不安のある方、もう一度資格を活かして働きたい方、ぜひご参加ください。

今回は、第2回目の開催で、今年最後となります。ご応募お待ちしております。

プログラム内容



講義

- ・採血・心電図
- ・血糖測定・注射法・輸液ポンプ
- ・心配蘇生(AED含む)
- ・希望部署での見学会及び実践



実技

- ・医療の動向
- ・看護の動向・働き方の選択
- ・感染予防
- ・電子カルテの操作の実施
- ・NST(栄養管理チーム)の活動

日程

10/29(月)、30(火)、31(水)
11/5(月)、6(火)、7(水) 計6日間

お問い合わせ

TEL: 045-402-7117 E-mail: akama-kyoiku@kmh.or.jp
担当: 看護部 赤間仁見
詳細は決定次第 web サイトにて公開します。http://www.kmh.or.jp

ママになっても働ける24時間の保育室

病院に隣接した職員専用の保育室は、生後2ヵ月から小学校低学年までのお子様を24時間365日対応で、お預かりしています。子育て中のスタッフが安心して仕事に取り組める環境があります。



見学歓迎
いたします!



高校生インターンシップ開催しました!

今年で3回目の今回は、7/31、8/1、8/3(女子4名)と8/7~8/9(女子6名)の2回にわけ、3日間行いました。

高校生インターンシップとは
看護の道に興味を持っている高校生を対象に、当院で実践している医療・看護に直接触れていただく職業体験実習のことです。3日間の実習プログラムは、手指衛生体験・技術体験・救急体験・見学実習・意見交換会など多岐にわたりました。



手指衛生体験



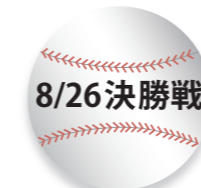
救急体験



車いす
ストレッチャー体験



第55回神奈川県病院協会野球大会3部優勝



8/26 決勝戦



野球部のみなさん
お疲れさまでした!



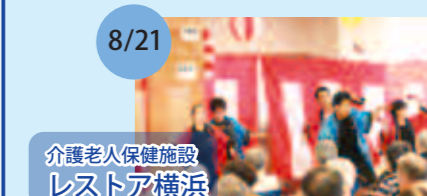
写真提供: 三輪 友康 (臨床検査科)

当院の関連施設で、恒例の夏の行事「納涼祭」を開催しました!



7/26

老人保健施設
レストア川崎



8/21

介護老人保健施設
レストア横浜

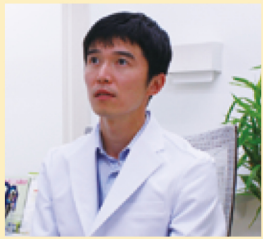
ご利用者さま、ご家族さまに楽しんでいただきました。

番外編

頼る!! まちの医療機関

大倉山わきもと内科

わきもと ひろふみ
院長 脇本 博文 先生



Q 診療にあたり心がけていることは何でしょうか?

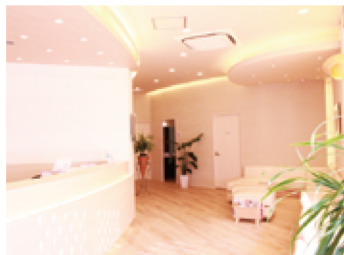
A 地域のかかりつけ医として患者様、ご家族の方の立場にたった医療を心がけています。受診された方が「受診して良かった。」と感じていただけるよう努力しています。

Q 他のクリニックと比べてどのような点が充実していますか?

A 地域の方々が受診しやすいよう夕方は19時30分まで、土日診療しております。お仕事等で医療機関へ通うことが難しい方でも受診しやすい環境づくりに努めています。

Q 特に力を入れている分野はありますか?

A 勤務医のときは循環器疾患を中心に診療させて頂いておりました。循環器疾患は生活習慣病と深く関わる疾患でもあります。生活習慣病という名のとおり日常生活と深い関わりもあるため、かかりつけ医として高血圧、脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症等の生活習慣病治療に力を入れています。あわせて循環器疾患・不整脈疾患に携わってきましたのでそのような症状があるようでしたらお気軽にご相談ください。



Q 菊名記念病院との連携について思っていることは?

A 菊名記念病院は、自分が今まで専門としてきた循環器疾患、特に虚血性心疾患、末梢動脈疾患ではご高名な病院で大変心強く思っております。また、救急医療にも力を入れられており、今後時間外の診療時にお世話になることも多いと考えております。地域医療連携の分野では画像診断部は特に充実しておりこれまでも患者様のご診断を頂いており、今後とも宜しくお願い致します。

最後に地域の方へメッセージをお願いします。

当院はスーパーマーケット ライフの目の前に位置し、スーパーの駐車場も使用できます。受診しやすい環境にありますのでどのような健康に関することでもお気軽にご相談ください。地域のかかりつけ医として患者様、ご家族の方の立場にたった医療を提供してまいります。

大倉山わきもと内科

■ 診療科目：内科・循環器科

■ 診療日時：月曜～金曜 9:00～12:30
15:30～19:30
土曜・日曜 9:00～12:30

■ 休診日：水曜・祝日

■ 所在地：横浜市港北区
大倉山 5-25-19
東急東横線「大倉山駅」
より徒歩 8分 駐車場完備
■ TEL:045-717-6887
■ FAX:045-717-6690



編集後記

日中はあいかわらず暑いですが、朝晩ともなれば、秋の涼しさが次第に感じられるようになってきました。しかし夏の疲れがそろそろ出てくる頃ではないでしょうか? 今号の特集「夏の消化器症状」を読んで、日々の体調管理にぜひお役立てください。さて、みなさま今年の夏は、どこかへご旅行に行かれましたか。広報は、夏までの大仕事「年報誌」が完成を迎えまして、遅い夏休みをいただきます。リフレッシュしてまた新たな気持ちで仕事に取り組んでいきたいと思ひます。

広報 佐藤

当院の基本理念

私たちの病院の使命－Mission－

質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します。



日本医療機能評価機構
認定病院 (Ver.6.0)



JQA-QMA14243
ISO9001:2008
認証取得病院



ピンクリボン運動
を応援します。



地域医療支援病院
菊名記念病院

〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-4-27
TEL:045-402-7111(代) FAX:045-432-2742
URL: <http://www.kmh.or.jp/> E-mail: kikuna@kmh.or.jp